



Member



高知市 指導監査課
谷 達也
tatsuya tani

中土佐町 総務課
中平 圭祐
keisuke nakahira

高知市 第二福祉課
濱田 貴大
takahiro hamada

土佐市 福祉事務所
前田 真弥
shinya maeda

日高村 建設課
山田 雄也
yuya yamada

本山町 まちづくり推進課
桑名 裕太
yuta kuwana

安芸市 市民課
西 かの子
kanoko nishi

政策指導
牧瀬 稔 講師
minoru makise

こうち人づくり広域連合
 平成26年度 政策研究共同事業
 〒780-0870 高知市本町5丁目2-3 (自治会館2F)
 TEL (088)-873-0333 FAX (088)-872-7716



あ い かつ
愛を育てる**活**動



平成26年度
 政策研究共同事業 企画書

人口減少時代のまちづくり

チーム名 / のりのり家族



日本および高知県の少子化の背景

日本の人口は平成20年をピークに減少に転じており、少子化と人口減少は現在も進行しています。

高知県の人口も、昭和60年の国勢調査以降減少しており(昭和60年839,784人→平成26年9月738,108人 高知県統計課)、年間出生数は昭和35年から平成25年までのこの50年あまりで6割も減少(12,663人→5,266人 平成25年人口動態調査)しています。

出生数減少の主な原因は、未婚化・晩婚化の進行です。平成25年の出生動向基本調査によると、結婚願望がある25歳以下の独身男女の結婚しない理由は「結婚するにはまだ若すぎる」が最多となっていますが、25歳を過ぎるとその最多理由は「適当な相手と出会わない」へと変化しています。

また、結婚をしても、夫婦が生涯に持つ子ども数(完結出生児数)は、平成24年には1.96人となっており、夫婦の理想とする子ども数(2.42人)には届いていません。夫婦が理想の子ども数を持つことのできない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多となっていますが、次に多い理由は「高齢で産むのはいや」という年齢的なものとなっています。

つまり、**より若い年齢で結婚したいと思えるパートナーと出会うこと**が、未婚化・晩婚化解消のカギとなり、出生数の増加につながると考えました。

視察およびアンケート結果

日本および高知県の少子化の背景を踏まえ、県内の企業・行政機関への視察およびアンケート調査を実施したところ、より若い年齢で結婚したいと思えるパートナーと出会うためには、特に下記の3点の課題を解決することが必要であると、肌で感じました。

- 課題① 企業内・企業間の若者の交流の場が少ない。
- 課題② 男女共に結婚を意識するタイミングが遅くなっている。
- 課題③ 結婚希望者は、自然(日常的)な出会いの場を求めている。

視察等協力: 安芸市結婚相談員、安芸市農林課、株式会社高知銀行、株式会社新進建設、株式会社相愛、カリヨン高知、高知県移住促進課、高知県少子対策課、四国情報管理センター株式会社(50音順・敬称略)で協力ありがとうございました。

そこで! 婚活色のない自然な出会いから少し早めの結婚につなげたい!

私たちは、夫婦となった男女の出会いの「きっかけ」は、出会いのイベントやお見合い結婚といったつくられた場以上に、「友人・兄弟姉妹を通じて」「職場や仕事で」「学校で」といった自然な出会いが88%を占めているという出生動向基本調査のデータに注目しました。

婚活に抵抗がある独身者という潜在ニーズに対して、自然な出会いの中で結婚につなげる取り組みはできないか、また平均初婚年齢(男性30.6歳 女性29.3歳 平成25年人口動態調査)を引き下げること、夫婦が生涯に持つ子ども数を、理想とする子ども数に近づけることができないかと考え、愛を育てる活動として「愛活」を提案します。

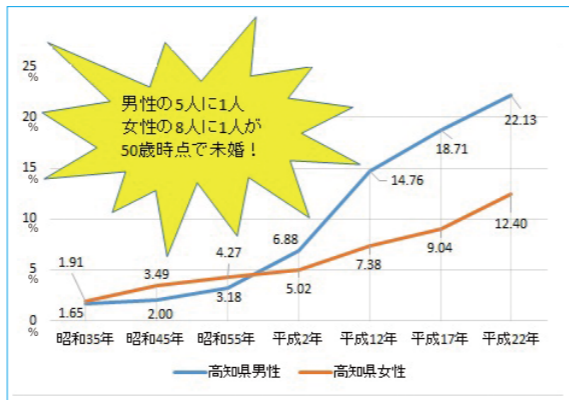
愛活の提案

施策	恋活(恋愛活動)	愛活(愛を育てる活動)	婚活(結婚活動)
主なターゲット層	10~20歳代	20歳代	30~40歳代
目標	恋人づくり	恋人づくり→愛を育てる→結婚	結婚
内容	合コン 街コン 飲み会	①愛活支援企業認証制度 ②愛活パスポート ③25歳の愛活成人式	婚活パーティー 結婚相談所 お見合い

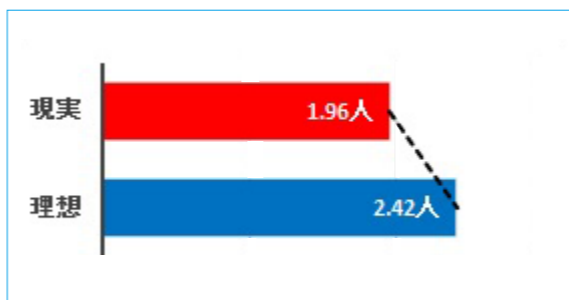
恋したい!

自然な出会いから結婚につなげる!

結婚したい!



【生涯未婚率の推移】
出典:平成22年 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」



【理想の子ども数】
出典:平成22年 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」

あ い 愛 を 育て る 活 動

だから

愛活施策として3つの事業を提案します

提案事業① 愛活支援企業認証制度

20歳代の独身正規社員が恋愛や結婚を自然に意識できるように支援する企業を認証する制度です。この制度に認証された企業には、認証書を交付し、ステッカーを配布します。認証の条件として、企業に勤める20歳代の独身正規社員に行政の主催する一斉清掃、地元の祭り、スポーツ大会などに参加してもらいます。そういった地域貢献活動を通じて自他社の異性と関わる出会いの場をつくります。この制度が、20歳代の独身正規社員の出会いの場を増やし、恋愛や結婚を前向きに意識させるきっかけとなり、**自然な出会いから恋愛・結婚への促進剤になります。**

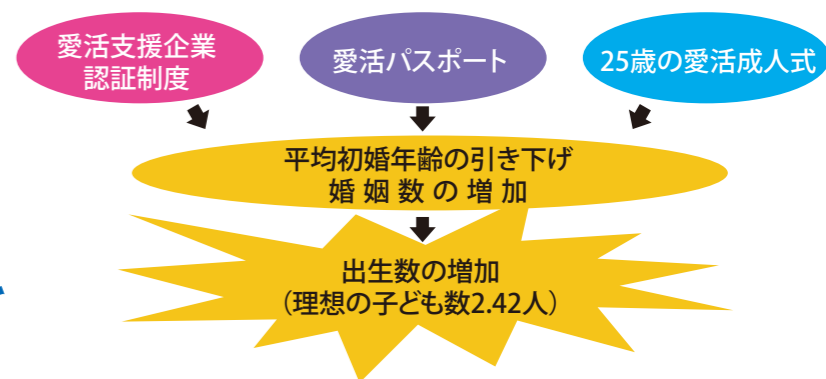
提案事業② 愛活パスポート

カップルの結婚を後押しする事業です。観光施設、飲食店、交通機関、宿泊施設などと提携し、スタンプラリーを展開します。また、本人確認のためのツーショット写真や提携施設などで撮った写真を貼るページを作ることで、世界に一つだけのオリジナルパスポートとなります。カップルが婚姻届の提出時に、パスポートを提示することで、市町村からの特典として結婚費用の補助(パスポート交付後3年未満で結婚:30万円、パスポート交付後3年以上5年未満で結婚:10万円)が受けられます。この**事業の効果はカップルが夫婦になるまでの平均交際期間4.26年を短縮させる**ことです。交際期間の短縮により、早期に結婚・出産のライフステージに立ち、第1子出産年齢を引き下げることにつながります。

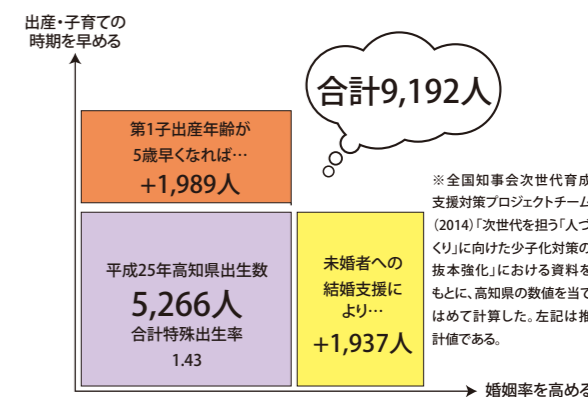
提案事業③ 25歳の愛活成人式

25歳の男女を対象に式典を行い、自然な出会いの場の演出と、結婚観・子育て観を高める事業です。**25歳は、結婚相手となるパートナーと出会う可能性が高い年齢です。**また近年、若者は年齢の近い相手との結婚を望む傾向が続いています。式典開催により、自然な出会いの場を演出し、式典内でのイベント(模擬披露宴や子育てビデオ上映など)を通じて、「結婚っていいなあ」「子育てっていいなあ」と感じてもらい、良い意味での焦りを誘発します。

【愛活施策の概要】



【愛活施策の可能性】



高知の自然な出会いを演出します

人口減少に歯止めをかける打開策はないのか、私たちはこの問題をテーマに約半年間、試行錯誤を繰り返してきました。

今回提案させていただいた愛活施策の3つの事業

- ①愛活支援企業認証制度
- ②愛活パスポート
- ③25歳の愛活成人式

は、自治体レベルで実施でき、また予算を抑えて人口減少に歯止めをかけることができると、私たちは考えます。

未来への投資として、今回の提案事業の実施をご決断ください